

# コミュニティ・スクール 学校運営協議会通信

令和5年3月22日発行

第1号

葛塚中学校区学校運営協議会

(葛塚東小学校・葛塚中学校)

事務局 発行

この葛塚中学校区(葛塚東小学校と葛塚中学校)は令和2年度から新潟市のコミュニティ・スクール学校運営協議会のモデル校として始まり、今年で3年目になります。今年度より新潟市全ての小中学校でコミュニティ・スクールが始まりました。

この葛塚中学校区は地域の特色を生かした取り組みに、児童・生徒を交えて話し合い、伝え合う力・かかわりあう力をもって進んだ3年間だと思います。

この功績が認められ、この度、新潟市では白南中学校と葛塚中学校区の取り組みが、『文部科学大臣表彰』を受賞致しました。皆様の活動のたまものだと思います。委員の皆様、ご尽力いただいた皆様、保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。



葛塚中学校区学校運営協議会

会長 五十嵐隆吉

## 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る

### 文部科学大臣表彰 の受賞！！

表題の通り、この度、葛塚中学校区が「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係わる文部科学大臣表彰を受賞することになりました！

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係わる文部科学大臣表彰とは？

地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指すことを目的に、学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組のうち、その内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰を行う。

※新潟市では、「地域学校協働活動」とは、「地域と学校パートナーシップ事業」のことを示す。

全国から推薦された学校(新潟市推薦枠)の中から、葛塚中学校区の学校運営協議会(コミュニティ・スクール、CS)の取り組みが認められました。

葛塚中学校区は、葛塚東小学校と葛塚中学校が小・中連携で新潟市のモデル校からスタートしました。この3年間、学校の活動だけではなく、葛塚地域の様々な地域行事や活動を通して、「地域とともにある学校づくり」をご支援いただきました。

コミュニティ・スクールを軸に、「地域とともに子どもたちの『かかわり合う力を育成する学校』という教育の重点事項に達成する明確な目標に向けて教育活動を実践してきました。代表的な活動として、1年目の「葛塚まつり灯籠プロジェクト」、2年目の「トライアングル・プロジェクト(スカイランタン)」、「防災プロジェクト」、3年目の「4年ぶりの福島潟自然文化祭」「6年生あいさつ運動プロジェクト」など、一つ一つの活動で地域の皆様から多大なるご支援をいただくとともに、協働することができました。

3年間という年月を振り返ると、様々な活動がありました。1つ1つの活動が学校、地域、そして児童・生徒たちにとって価値のあるものになりました。1つ1つの積み重ねがあったからこそ、この賞をいただけたのだと思います。本当にありがとうございました！

2月3日葛塚中学校区学校運営協議会五十嵐隆吉会長が代表して文部科学省の表彰式に参加されました。



文部科学大臣賞受賞からの  
葛塚中学校 校長 上村 茂

この度、葛塚中学校区（葛塚東小学校と葛塚中学校が連携）として、『コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進』に関して受賞することになりました。「葛塚まつり灯籠プロジェクト」、「トライアングル・プロジェクト(スカイランタン)」、「防災プロジェクト」、「福島潟自然文化祭」等、葛塚地域の様々な行事や活動での協働を通じて、「地域とともにある学校づくり」を進め、子どもたちの成長を地域全体で支えた実践が認められました。



葛塚の子どもたちの「生きる力（=かかわりあう力）」は、地域とのつながりや信頼できる大人たちとのかかわりの中で身につけていきます。それには、学校・家庭・地域が互いに理解し合い、それぞれが役割を果たしていくための協働が大切です。かかわった人たちが、かかわる良さを実感できるよう、話し合いを基盤に気運を高めることで、子どもたちは、地域とのつながりを実感し、地域の一員の意識をもちます。ふるさとへの愛情を深めていくこの輪を、大切にしていきたいと思います。



文部科学大臣賞受賞に当たって  
葛塚東小学校 校長 小林 久哉

この度、葛塚中学校区（葛塚東小学校と葛塚中学校が連携）として、新潟市より推薦を受け、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」にかかわり、文部科学大臣賞を受賞しました。

この葛塚中学校区はもともと、地域と学校が協力して地域の子どもたちを育てる風土がありました。この良さを活かし、小学生、中学生、大人と一緒に地域のことについて話し合い、伝え合う力、かかわり合う力をもってコミュニティ・スクール事業を展開してきました。合わせて、地域と学校パートナーシップ事業もたくさんの取組を行い、多くの学校支援ボランティアさんが学校にかかわっていただきました。そんな多くの方が協働して行った成果が今回の受賞です。



子どもたちと地域の大人が同じ土俵に立ち、地域のこれからについて語り合うとともに、みんなで地域を活性化するために何ができるかをとことん話し合っただけで考える、そんなことを繰り返すことによって、一つ一つの活動が学校、地域、子どもたちにとって価値あるものになりました。

今後もこの受賞を励みに、地域を大切に、地域を誇りに思える子どもたちの育成に努めていきます。これからもよろしくお願いします。





令和4年度 葛塚東小学校・葛塚中学校コミュニティ・スクール概要



地域の環境や宝物を大切に、自然と共存しながら、ふれあいにあふれ、安心して暮らせる地域



**段ボールベッド**

耐久性が非常に高く、誰が乗っても壊れる事はほぼ無いが、葛塚中学校に用意されている段ボールベッドは僅か3つ。避難所開設時は怪我人が高齢者専用のベッドとして活用できる。

葛塚に  
広がるきらかな  
雁迎灯

明るさ  
伝統

トライアングルプロジェクト

笑顔  
17時45分～  
10/15 (金) 点灯スタート

葛塚小学校、葛塚中学校で職員に代わって

主催  
実行委員会  
協賛  
協賛  
協賛



## 委員の方のコメント

子どもたちの対応力と対話力を実感できました。このように地域の大人と経験や考え方を超えて生産的な対話ができる機会が重ねられると嬉しいと思います。

子どもたちの発想力に驚きました。少数の意見の中にも素晴らしい考えがあるのでどのように吸い上げるのか、これからの課題だと感じました。

人づくり、町づくりの観点から大変素晴らしい取り組みだと思います。次年度以降もより良い葛塚中学校区を作っていきます。

## 地域の方のコメント

葛塚の子どもたちと大人のバランスが面白い。小学生の意見を引き出せる中学生が素晴らしい。

子どもと大人が同じテーマに沿って話し合える機会があって非常に良かった。子どもの発想力に改めて感心しました。この意見が少しでも実現できたらと思います。

中学生、小学生の意見を聞くいい機会になりました。委員の方と子どもたちが会話のキャッチボールができていて素晴らしいと思いました。

## 児童生徒のコメント

私はコミュニティ・スクールに参加して学校では学べない地域のことを地域の人と中学生と一緒に考えて、話し合いアイデアを出し合えたことが嬉しかったです。中学生になっても参加したいです。

初めての参加で緊張しました。でも、話を進めていくうちにいつの間にか小学生と地域の方が普通に楽しく話していました。地域の人たちと関わりあえるってこんなにも楽しいことだと知りました。次回も参加したいです。

※葛塚東小学校、葛塚中学校のホームページでも掲載してあります。ご覧ください。